

令和7年8月28日開催

全員協議会資料

(1)	水道水の渇水対応について	・・・・・・・・	1～2
	節水対象区域図	・・・・・・・・	別紙
(2)	令和7年7月14日付け市議会から市長への申入れに 対する対応について	・・・・・・・・	—
(3)	三田市への対応と今後の取組について	・・・・・・・・	3～7

ガス水道局
総合政策部
総務部

水道水の渇水対応について

1 正善寺ダムの貯水量等の状況

- ・ 当日配布

2 これまでの主な取組

○ 初期対応

日付	項目
4月5日深夜	県営高田発電所において、後谷ダムから発電所に導水している水圧管路が破断する事故が発生、原水の流入がなくなったことから城山浄水場の運転を停止
4月6日	正善寺浄水場の配水量を増加 予備水源である地下水浄水場（和田浄水場及び深谷浄水場）の運転準備開始
4月9日	地下水浄水場の運転開始、当面の給水体制を確保

○ 原水確保の取組

日付	項目
4月上旬～	高田発電所を管理する新潟県企業局及び上越利水事務所に早期の通水再開を要請
4月17日～	緊急取水先として、城山浄水場取水口に近接する一級河川関川水系沢山川を選定し、関係機関（国及び県）及び水利使用者と協議
5月28日	沢山川全水利使用者から同意、国に緊急取水要請書提出
6月2日	沢山川から城山浄水場へ緊急取水開始
6月6日	城山浄水場運転再開
6月18日～	後谷ダムの水の破断管路からの緊急放流を県に要請、国及び県と協議
7月21日～	放流水の城山浄水場への取水を開始、当初、濁り監視と堆積する土砂の除去を24時間体制で継続、現在は安定して取水
7月25日	国及び県に緊急要望
8月1日～	綱子川から正善寺ダムへの放流開始
8月5日	国に緊急要望
8月5日～	上越妙高駅消雪用井戸から取水
8月7日～	正善寺ダムの最低水位以下から取水
8月12日～	上越教育大学構内及び飯交差点等消雪用井戸から取水
8月12日	旧南城浄水場稼働に向けた工事完了
現在実施中	県が後谷ダムからの水を城山浄水場に送るための応急的な仮設工事に着手、9月上旬完了予定

○ 正善寺浄水場の配水量の抑制

日付	項目
6月10日～ 7月31日	柿崎川及び深谷浄水場エリアの拡大
6月23日～	板倉区山越浄水場エリアの拡大
7月21日～ 7月31日	牧浄水場エリアの拡大に向けた緊急配管作業
7月24日～	節水対象区域外給水スポット開設（29 か所）
7月26日～	三和区法花寺浄水場の運転開始
7月29日～	節水対象区域内給水スポット開設（22 か所）
8月24日	節水緩和に伴い節水対象区域内給水スポットの取組を完了

○ 節水の周知

日付	項目
7月15日	上越市ガス水道局渇水対策本部設置 節水対象区域（別紙）の市民の皆様へ 40%以上の節水を要請
7月25日	上越市渇水対策統括本部設置 節水対象区域外の市民の皆様にも 20%以上の節水を要請
8月19日	節水対象区域内を 40%以上から 20%以上に、節水対象区域外を 20%以上から 10%以上に、それぞれ節水要請を緩和

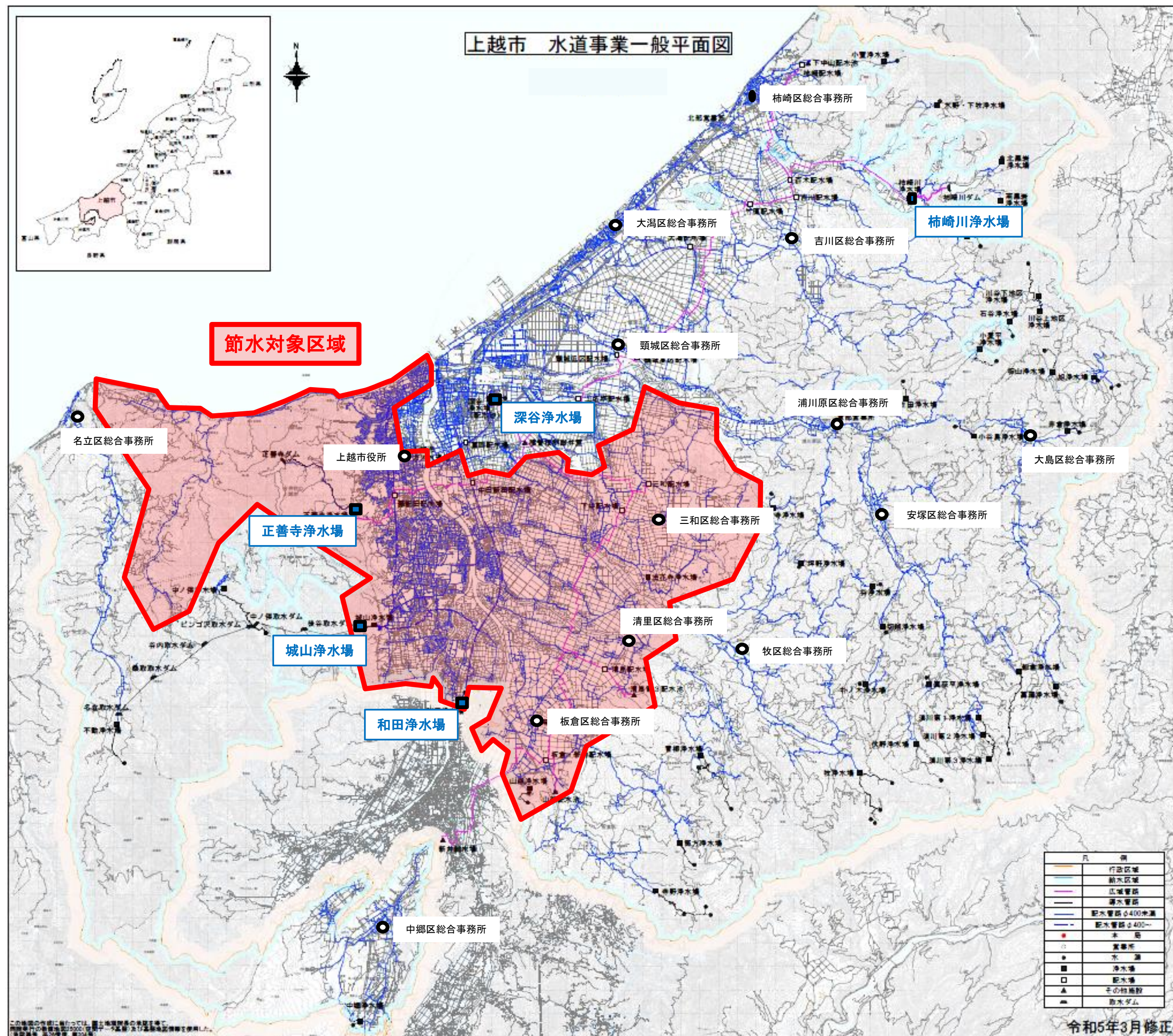
周知方法	・市及びガス水道局ホームページ、ポータルサイト、市公式LINE、X、上越タイムス「市民の窓」、局Instagramによる情報発信 ・市公式YouTubeチャンネルへの動画の掲載 ・広報車による周知 ・防災行政無線及び安全メールによる周知 ・節水チラシの配付（節水対象区域全世帯） ・駅及びバス停を含む公共施設等でのポスター掲示 ・定時の情報提供
------	--

○ その他

日付	項目
7月29日～ 8月24日	日本水道協会新潟県支部からの応援受入 節水対象区域内給水スポットへの給水活動
8月1日	令和7年度上越市水道事業会計補正予算の専決処分

3 今後の対応

- 引き続き、市民及び事業所の皆様へ節水へのご協力を呼び掛ける。
- これまでの取組で確保した原水について有効に活用し、正善寺ダムの貯水量減少の抑制に努める。
- 現在、新潟県が後谷ダムからの水を城山浄水場に送るための応急的な仮設工事を進めていることから、その仮設工事の進捗状況や正善寺ダムの貯水量の回復状況を注視しながら、断水の回避時期等を見込んでいく。



三田市への対応と今後の取組について

1 お米に関する発言があった行事

(1) 7月1日（火）：ふるさと納税専門官委嘱状交付式

- ・会場：市役所木田第一庁舎 応接室
- ・参加者：ふるさと納税専門官（1名）及び派遣元民間事業者社員（2名）

(2) 7月3日（木）：上越公務員・情報ビジネス専門学校「市長講演会」

- ・会場：高田城址公園オーレンプラザ ホール
- ・参加者：専門学校の生徒及び職員 約150名

2 これまでの対応経過

7月5日（土）：新聞記事に掲載

7月7日（月）：三田市から抗議状を受領 5 頁

7月8日（火）：三田市へ謝罪状を送付 6～7 頁

7月9日（水）：中川市長から田村三田市長へ電話で謝罪及び市長記者会見

7月29日（火）：三田市訪問

中川市長が三田市を訪問し、三田市長への謝罪、米づくり現場の視察、農業者への謝罪及び面談等を行うとともに、三田米の評価回復に向けた今後の取組についての提案を行った。

○三田市長との面会（三田市役所）

- ・現場視察出発前に三田市長への挨拶と謝罪

○三田の米づくりの現場視察（三田市高平地区）

- ・はつか農事組合法人代表理事による案内（三田市長も同行）

○農業者への謝罪（三田市総合福祉保健センター）

- ・三田市長同席の下、兵庫六甲農業協同組合代表理事組合長をはじめ農業関係者計5名への謝罪と面談

※会場では農業関係者約20名が傍聴

○三田米の試食（JA兵庫六甲三田営農総合センター）

- ・三田市長と共に三田米を試食
- ・評価回復に係る取組の提案・発表

※試食終了後、両市長が取材対応

7月30日（水）：市長定例記者会見

定例記者会見において、三田市への訪問結果を説明

8月7日（木）：「出張！居酒屋上越 三田×上越コラボイベント」

市が入居している「WeWork丸の内北口」（東京都）を会場に、会員企業や首都圏在住者等に上越市のおかずやつまみと共に三田米の試食、三田産山田錦を使った上越市の地酒の試飲等によるPRを実施（来場者数 約 100 人）

8月22日（金）：三田市長による上越市訪問

謙信公祭イベントでの三田市物販ブース出展に合わせ、三田市長が当市を訪問

8月23日（土）：謙信公祭イベント「春日山縁天下」への三田市物販ブース出展

「春日山縁天下」ステージイベントオープニング（文化会館大ホール）において三田市長が挨拶、三田市物販ブース（文化会館前会場）で三田米等のPRを実施

3 今後の取組（予定）

(1) 9月13日（土）・14日（日）

三田市×上越市 新米フェスタ（有楽町・東京交通会館）

三田産、上越産それぞれの新米の一合升での量り売りや予約販売などを実施

(2) 9月14日（日）・15日（月・祝）

ふるさと納税イベント 三田市×上越市 コラボ出展（東京ビックサイト）

大手ポータルサイトが主催するふるさと納税イベントにおいて、グルメコート実演販売・飲食ゾーンに三田市・上越市のコラボブースを出展し、当市の特産品や三田米のおにぎりなどの販売、ふるさと納税のPRを実施

上越市長 中川 幹太 様

三田市長

田村克也

抗 議 状

令和7年7月5日発行の上越タイムスにて報道されました三田産および兵庫県産米に対する貴職の発言について、三田市民及び兵庫県民を代表して強く抗議いたします。

三田市は、豊かな山並みを水源とする武庫川、羽束川などの清らかな水と盆地特有の気候を背景とし農業を基幹産業として発展してきました。特に三田米は、古くから美味しいお米として全国的にも高い評価を受けており、本市ふるさと納税の返礼品としても全国の多くの皆さまに選ばれており、その美味しさを称賛する声を多くいただいております。また、近年は主食用米だけでなく、酒米「山田錦」の産地としても名を馳せ、近隣のみならず全国の酒造業者から高く評価されております。

そのような中、報道によりますと貴職から上越のお米がおいしいことを表現するために我が地域が誇る三田米の価値を不当に貶める発言がされたことは、自治体首長という立場でありながら大変身勝手な発言であるとともに、三田市および兵庫県の農業者や関連者の日ごろの努力や産品に込められた思いを愚弄するものです。加えて、貴職の発言は、産地ごとに産品の優劣をつけることを前提としており、三田市および兵庫県の農業者だけでなく、それぞれの環境の下で最高のお米や野菜を生産している上越市も含む全国の農業者の皆さまの日々の精励恪勤な取り組みを一顧をもせず、踏み

にじるものであり、強い憤りを禁じ得ません。

貴職も青春時代を本市で過ごされたと貴職のご学友からお聞きしています。そのご縁もあり、上越市長という立場からであっても、三田市のことを応援いただいていると期待しておりましたが、今回の発言は“ふるさと三田”を侮蔑する倫理観に欠けるものであり強い憤りと共に、同じ首長として残念でなりません。

つきましては、速やかに三田産および兵庫県産米の不当な評価の回復への取り組み、本市農業者及び全国の関係者への誠意ある謝罪を公式の場でされると共に、対応結果について、私に文書にて報告されるよう、お願い申し上げます。

令和 7 年 7 月 8 日

三田市長 田村 克也 様

上越市長 中川 幹太

謝 罪 状

この度の貴市のお米に対する私の発言により、貴職並びに三田市の皆様、関係者の皆様に大変ご不快な思いをさせてしまったこと、また、多大なるご迷惑をおかけしたことににつきまして、誠に申し訳なく、心から深くお詫び申し上げます。

当市のお米との食味を比較し、他の産地のお米を貶める私の発言は、美味しい米作りに日々、懸命に取り組まれている貴市をはじめ全国の農業者、関係者の皆様への敬意と配慮を欠くものであり、三田市の皆様、そして三田市を愛する皆様の心を傷つける、軽率で極めて不適切な発言であったと猛省しております。

また、良食味として高い評価を受けられている三田米、当市を含めた全国各地で造られている日本酒に用いられている山田錦など、農業者をはじめ関係者の皆様方の長きにわたる並々ならぬご努力の賜物により、貴市が日本有数の米の産地として確固たる地位を築いて来られたことを一顧だにしないような不見識な発言であったことを、改めて深くお詫び申し上げます。

私は、三田の地で中学、高校時代を過ごしました。貴市に住んでいた当時は、急速に開発が進み、街が大きく発展していく様子を目の当たりにすることができました。また、友人とともに過ごした時間、人々の温かさ、歴史や文化、食の魅力の数々に触れることができたことは、私の人生にとって大きな財産となっております。そのような素晴らしい三田市で暮らし、数多くの良い思い出を得ることができたことに今も感謝しております。

それにもかかわらず、多感な時期を過ごした思い出の場所であり、大切なふるさとである三田市について、不適切、不見識な表現を用い、侮蔑に当たるような発言をしてしまったことは、弁明の余地もございません。

そして、貴職からの抗議状を拝読し、貴職並びに関係者の皆様方の心の痛みを改めて痛感している次第であり、明日の夕方、公式の場で謝罪の意を表する記者会見を行うとともに、三田市産を含む兵庫県産米の評価の回復、貴職並びに関係者の皆様の信頼の回復に向け、誠心誠意、尽くしてまいる所存であります。今後の取組につきましては、改めてご報告させていただきます。

まずは書中をもちまして、私の発言により多大なるご迷惑、ご心痛をおかけしましたことを重ねて深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。